

イベント報告

11月13日(金) 豆っこひろば 『あったか焚き火でビー玉クラフト』

乳幼児とその保護者を対象にしたイベント「豆っこひろば」。第4回目のテーマは「焚き火」です。まずは、焚き火の燃料となる落ち葉や、枝などの焚き木を拾いに森の中へ出かけます。燃えやすい焚き木はどんな焚き木かな？手袋をはずして触てみよう。湿っているかな？乾いているかな？自分の手で、見て触て探して火を起こしました。

そして、起こした火を使ってビー玉をあぶります。あぶったビー玉を冷たい水の中に入れるとあら不思議！ビー玉にきれいな模様が入りました。温度差により膨張と収縮が急激に行われ、割れ目のできたのです。このビー玉を麻ひもで編みこんで、きれいなビー玉ストラップの完成です。火の暖かさと、ビー玉の不思議を感じる豆っこひろば第4回でした。



白井(ねぎ)



11月28日(土) そら豆ひろば 『力を合せて 岬の大冒険』

今回のそら豆ひろばは岬の大冒険！地図を片手に大房岬の宝物探しを行いました。展望塔に登ってヒントを探したり、真っ暗な洞窟を探検するなど、途中くじけそうになりながらも様々な難関をクリア。最後は無事に宝物を手に入れることができました。

そら豆ひろばでは活動中スタッフはあまり口出しをしません。その子ども達達は自分たちで地図を見ながら行き先を考え、協力して活動をすすめていきます。今回は自分達で冒険を攻略出来て、子ども達の表情はなんだか誇らしげでした。この冒険で得た経験が子ども達の大きな自信につながればと思います。 山崎(だいすけ)

お知らせ

●冬期間の宿泊利用について * 50名以上の宿泊で貸切利用が可能!!

※平成27年12月1日(火)～平成28年2月29日(月)

貸切でご利用いただくと、他団体の動きを気にせずにプログラムを組み立てることができるので「1日中体育館を使用し、みっちり練習!」といったことも可能です。部活動の冬合宿等にも利用しやすいのではないのでしょうか。ご予約は先着順となっております。ご宿泊での利用をご検討中の皆さまは、ぜひお早めにご予約ください。

●イベントのご案内

さくらフェスタ

日程：平成28年4月2日(土) ※雨天時は3日(日)に順延

ステージイベントやフリーマーケット、体験ブースなどのイベントが盛りだくさん！ご家族やお友達と大房岬の春を楽しみませんか？出展者も大募集しています！詳細は下記HPにて随時ご案内いたします。

【発行元】南房総市大房岬自然の家(所長 神保 清司)

(指定管理者) NPO 法人千葉自然学校

〒299-2404 南房総市富浦町多田良 1212-23

メール: taibusamisaki@chiba-ns.net

電話: 0470-33-4561 FAX: 0470-33-4564

ホームページ: <http://taibusa.jp/>

はなっと・・・房州弁で「岬(先端)」。大房岬から、たくさんの耳よりな情報をみなさんにお届けします!



たいぶさ 大房岬の近況報告



【写真】マヒワ 大房岬にも訪れる冬鳥です

新年あけましておめでとうございます。昨年は施設の名称が変わり、多くの方に自然の家をご利用いただきました。今年も様々な年代の方に自然体験のプログラムをお伝えできるよう努めたいと思います。よろしくお願いいたします。

さて、季節はすっかり冬となりました。大房岬では冬は「オオニシ」と呼ばれる西風が強く吹き、寒い日が続いています。でも、こんな環境でもたくましく生き抜いている生き物「野鳥」がいます。冬は落葉樹の葉が散るので、木にとまっている野鳥の姿を観察しやすい季節となります。大房岬では通年で猛禽類の「トビ」が空を飛びまわっている姿が見られますが、園内の木々の中には「ヒヨドリ」や「メジロ」などの鳥たちの鳴き声が響きます。今の季節はツバキの花の蜜を吸いに、花から花へ忙しそうに飛び回っているの、そっと近づけばじっくりと観察が出来るかもしれません。また冬鳥と呼ばれる「ジョウビタキ」や「シロハラ」なども大房岬で冬を越しています。寒いと外に出るのもおっくうになりがちですが、様々な野鳥たちを見に大房岬に遊びに来ませんか？野鳥の元気な姿を見れば寒さもきっと吹き飛びますよ!

所長の目線

少し前の話になりますが、11月に福井県にお招きいただく機会がありました。福井県内で子ども達の教育旅行受入に関わる農家さん、NPO、行政、観光業など様々な団体・個人の方たちと南房総での事例を参考に意見交換をさせていただきました。

いつも南房総で活動している私たちですが、地域によって直面する課題も様々なことがよくわかりました。交流するため都市圏からの移動距離や二次交通の不便さなどよく話題に上る課題も然りですが、とりわけ、その重要性を再認識したのは地域の「人材」をどう見るかということです。日本全国、豊かな自然・文化やおいしい食べ物はたくさんありますが、それらの資源を活かすための人材不足がよく話題に上ります。しかし地域に入っ言葉と交わしてみると、何とも素晴らしい特技をお持ちの方がいたり、何とも癒される雰囲気のお母さんがいたりとは実は人材は地域にあふれていて、この人たちに無理なく活躍してもらう舞台の仕掛けが不足していることに気が付くのです。



●休所日情報● 1月～3月の休所日は次の通りです。

1月1日(金)～4日(月)、1月18日(月)、2月15日(月)、3月14日(月)、3月31日(木)



プログラム紹介 ☆房総子どもかるた・いきものカルタ☆

新年になり数日が経ちましたが、この時期の遊びといえば「かるた」が定番ですね。大房岬自然の家でもかるたを楽しむことができます。その名も「房総子どもかるた」。千葉県民の方でしたらご存知の方も多いでしょうか。

自然の家を利用される皆さんは、大房岬のフィールドを活かした外での活動がメインですが、雨で外の活動ができない時や、1時間程度の空き時間に、手軽にできるプログラムとして人気です。千葉県に関する内容になっているので、地域のことを知ることができ、メインプログラムの一つとして選択される団体さんも多いです。

また、「いきものカルタ」という、生き物について学べるかるたもご用意しています。遊びながら生き物の生態を学ぶことができ、難易度も変えられるので子どもから大人まで楽しむことができます。

体育館やオリエンテーションルーム、もしくは宿泊室でも体験することができます。外での活動にプラスして、ぜひお楽しみください。



みんな
とっても
真剣！



ごはんのはなし



日本の行事食



日本では古くから1月7日に行事食として「七草粥」を食べる習慣があります。セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロの7つの野菜を刻んで入れたおかゆを七草粥といい、その一年の無病息災を願って食べられます。おせち料理や祝酒で弱った胃を休めたり、野菜が乏しい冬場に不足しがちな栄養素を補うという役割もあります。また、七草粥には七草すべてが使用されるとは限らず、地方によって食材が異なる場合があります。青菜や根菜、油揚げなどを含めて7種類取りそろえる場合や、鶏肉を加える地方もあります。調理法も白粥のみではなく、鰹節で出汁を取り醤油や味噌で味付けして雑炊にしたり、和え物・お浸しで七草を食べるなど、様々なバリエーションがあるようです。簡単に揃えられる材料ですので、色々な調理法や食材を使って作るのも面白いと思います。是非、試してみてくださいはいかがでしょうか。



セリ ナズナ ゴギョウ ハコベラ ホトケノザ スズナ スズシロ

臼井（あつし）

野遊び日和 冬でも海遊び



冬でも海は楽しめます。釣りや浜辺を歩いたり、空気の澄んだ夕景を写真に撮ったり。そんな中でもビーチコーミングがお勧めです！冬場はビーチコーミングに適しています。その理由は、海水温が低下し、多くの貝類が死ぬからです。南房総は黒潮が近いため、たくさんの生き物であふれています。そのため、いろいろな漂着物が打ちあがります。一際目につくのが、タカラガイの仲間。私はですが…。世界中には約200種類いて、房総で約50種類も見つかります。その中でも最近は一際大きい「ヤクシマダカラ」ばかり探していますね。他にも、海洋ほ乳類の骨や海外からの漂着物も流れ着きます。遠くは南米の物も。この冬は海岸を歩いて漂着物を眺めて見ませんか？

香山（かやまん）



みなみぼうそう

南房総ロングトレイル

大房岬自然の家では、南房総の自然環境を生かした、プログラムの開発、フィールドの開拓を行っています。今回は、その中でも現在注目されている「ロングトレイル」についてご紹介します。



【ロングトレイルとは】

ロングトレイルとは、「踏み跡」を意味する、人が歩く道のことです。山頂を目指すだけでなく「歩きながら地域の自然や文化を楽しめる道のこと」とも理解されています。海外の有名なロングトレイルを参考に日本でも整備が進められています。

【なぜ今ロングトレイルなのか】

健康として、レジャーとして、ライフスタイルとして、自然の中を「歩く」（トレッキングする）というニーズが非常に高まっています。南房総は、首都圏のマーケットに近く、このロングトレイルの整備によって観光の活性化が期待されています。

【南房総ロングトレイルの特徴】

南房総は海に囲まれた半島であり、中心部は標高こそ低いものの、深い森が広がっています。そして、人と自然が調和しながら暮らしてきた里山、里海の風景を感じながら歩くこともできる多彩なコースがあります。また、冬でも温暖で積雪が無く、1年中楽しめるコースでもあります。

【南房総ロングトレイルのこれから】

理想は、「いつでも誰でも歩けるコース」ですが、まだそこまでの整備や受入態勢は整っていないのが現状です。

大房岬自然の家では一昨年度からイベントとして、このロングトレイルを活用しています。南房総市「道の駅富楽里とみやま」を起点に、千葉県最南端の同市「野島崎灯台」までを4回（内1回は1泊2日）に分けて踏破しました。もちろん、自然の家スタッフがガイドとしてご案内しています。ロングトレイルが、南房総の魅力を伝える手段の一つとなり、地域活性化の起爆剤となればと思っています。

今後もイベントを企画予定ですのでホームページなど是非チェックください！

白井（ねぎ）

※今回の「南房総の匠に聴く」は都合により休載させていただきます。

たいぶさ樹木ずかん

ツバキ

（ツバキ科ツバキ属）



高さ5mほどになる常緑樹。丁度今頃に赤や桃色、白など美しい花を咲かせます。よく「サザンカ」と間違われやすい花ですが、ツバキの花期は12月～4月頃、サザンカは10月～12月頃。また花が散る時ツバキは花ごと、サザンカは花びらで散るなどの違いがあります。そんな見分け方もぜひ楽しんで見てみて下さい。
場所：運動園地など

スタッフのつぶやき

テーマ「2016年 今年の抱負は？」
スタッフの意外な一面(?)を紹介します。

いいパパになれるように、子育てに奮闘したいと思います。
臼井（あつし）

今できること、新たな国内外の自然・文化を味わう。
香山（かやまん）

今年こそ、座布団級のヒラメを釣り上げて、エンガワ祭り！
白井（ねぎ）

自分らしい生き方暮らし方を見つめる。我が子にいろんなことをちゃんと教える。神保（ジン）

アクティブ＆ポジティブに生きる！！！！
花嶋（ぼによ）

無理をせず、のんびりと一年を大切に過ごす。
松田（料理長）

フルマラソン出場！槍ヶ岳登頂！目指して体力作りします。
山崎（だいすけ）